

平成 20 年度 川崎市国際交流センター 事業報告書

(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

<情報資料収集・提供及び広報出版事業>

■ 図書・資料室の運営

川崎市国際交流センターの図書・資料室の運営において、図書、資料、新聞、雑誌、ビデオなど国際交流関係図書等の充実を図るとともに、利用者への情報提供を行った。

- (1) 利用時間 午前 10 時～午後 8 時 (開館日)
- (2) 利用対象 小学校高学年以上
- (3) 複写 1 枚 10 円 (資料の必要箇所を著作権法の範囲でコピー可とした。)
- (4) 閲覧等 閲覧利用とし、学校等公的団体への貸出しを行った。
- (5) 利用者数 12,031 人
- (6) 閲覧件数 図書等 (1,902 件) ビデオ (651 件) CD (37 件) DVD (2 件)
- (7) 閲覧図書上位 1. 辞書・辞典・事典 2. 国際交流児童図書 3. 一般児童書・絵本
4. 日本関連図書 5. 海外旅行・海外生活紹介図書
- (8) 蔵書数

書 籍	13,095 冊 和図書 10,965 冊 外国語図書 2,130 冊
新 聞 (日刊・週刊など)	24 紙 英語 1 紙 韓国・朝鮮語 1 紙 中国語 4 紙 ポルトガル語 1 紙 スペイン語 1 紙 日本語 12 紙 フィリピン語 1 紙 日本語 / 中国語 1 紙 日本語 / フランス語 1 紙 タイ語 1 紙
情 報 誌	183 誌 和雑誌 114 誌 外国語雑誌 45 誌 在日外国人向け生活情報誌 24 誌
ビデオテープ	474 巻
新聞スクラップ	84 タイトル 368 ファイル

(平成 21 年 3 月末現在)

(9) 資料の分類

一般図書 (和書・ 海外図書)	国際交流・ 国際関係	000 国際交流 010 戦争と平和 020 人権問題 030 開発援助 040 地球環境問題	050 在日外国人問題 060 日本人(海外生活) 070 語学学習 080 国際関係 090 その他
	各国別図書	100 日本 200 アジア 300 ヨーロッパ 400 アフリカ	500 北米 600 中南米 700 オセアニア 800 世界
	その他図書	900 参考図書 910 辞書・辞典・事典 920 便覧・ハンドブック 930 名簿・ダイレクトリー	940 年鑑・白書 950 法令集 960 地図 990 児童向け図書
雑 誌	和雑誌・外国語雑誌		
新 聞	日本・海外		
ビデオ/DVD	日本紹介・海外紹介など		
C D	語学学習		
そ の 他	各都道府県交流協会情報紙・NGOニューズレター・ 各国大使館、観光局資料・新聞スクラップ		

(10) 各国語の新聞リスト

新 聞 名	言 語	頻 度	出 版 地
INTERNATIONAL PRESS	ポルトガル語	週刊	日本
INTERNATIONAL PRESS	スペイン語	週刊	日本
THE JAPAN TIMES	英語	日刊	日本
人民日報(海外版)	中国語	日刊	中国
中日新報	日本語/中国語	月刊	日本
大富報	中国語	隔週刊	日本
留学生新聞	中国語	隔週刊	日本
日中新聞	中国語	週刊	日本
日中新聞	日本語	週刊	日本
中国巨龍	日本語	週刊	日本
東亜日報	韓国・朝鮮語	日刊	日本
東洋経済日報	日本語	週刊	日本
民団新聞	日本語	週刊	日本
PINOY GAZETTE	フィリピン語	隔週刊	日本
OVNI	フランス語/日本語	隔週刊	フランス
Thailand POST	タイ語	月刊	日本

※中国語新聞の多くは寄贈によるもの

(平成21年3月末現在)

■情報ロビー等の運営

国際交流センターの各種施設を活用し、市民及び外国人への情報提供を行った。

(1) 外国人への情報提供（情報ロビー）

外国語専用のパンフレットコーナー及び掲示板を設置し、外国人市民への情報提供を行った。

(2) 姉妹・友好都市の紹介（ギャラリー）

姉妹・友好都市との盟約書及び記念品等を展示し、姉妹・友好都市の紹介を行った。

(3) 国際交流に関わる情報提供（談話ロビー、プロムナード）

国際交流や国際協力、また他団体などの各種事業、イベントなどのポスター、チラシ、パンフレットを掲示・配布し、市民への情報提供を行った。

(4) 国際交流に関わる情報交換（談話ロビー）

市民や外国人市民、団体などからの情報をメッセージボードに掲示し、相互の情報交換を行った。（利用件数 53件）

(5) 各国紹介パネルの展示（プロムナード）

在日大使館などから提供されたポスターをパネルとしてプロムナードに掲出し、紹介するとともに、センターの国際的な環境づくりを行った。

■センターホームページ等の運営

国際交流センターのホームページならびに館内のインターネットを通じて、各種の情報提供を行った。

(1) ホームページの運営

国際交流センターの専用ホームページを通じて、センター施設の紹介及びセンター事業の広報ならびに情報提供を行った。また、ホームページの迅速な更新を行った。

（アクセス件数） 44,196件（121アクセス/日）

（更新数） 471回

（URL） <http://www.kian.or.jp/kic/>

(2) インターネット用パソコンの設置

インターネット接続のパソコン2台を設置し、市民への情報提供を行った。

（利用時間） 午前9時30分～午後8時30分（休館日を除く）

（利用内容） インターネットの閲覧のみ。

（利用料） 無料。1回あたり30分まで （利用件数） 4,073件

■国際交流センターだより等の発行

1 「国際交流センターだより」の発行

- (目的) 国際交流センターをより身近な施設として利用していただくため、センターの催し物や講座、施設についての情報をニュースレター形式で発信した。
- (発行) 年間11回(月刊、但し、7・8月号は合併号とした。)
- (部数) 3,500枚
- (内容) ○月間の行事予定 ○講座及び行事の募集 ○図書・資料室の注目新書紹介
○施設点検日のお知らせ ○その他
- (配布先) 各区役所、市民館、図書館など公共施設、中原区住吉地区町内会に回覧、その他関係機関など

2 情報誌「K I A N」(キャンニュース)の発行

- (目的) センター等の事業ならびに市内の国際交流活動、ボランティア活動などを紹介し、国際交流について広く市民に情報を提供した。
- (発行) 年4回(季刊)
- (発行部数) 4,000部
- (編集等) 協会所属のボランティアが編集、取材、原稿作成、校正、発送などを行った。
- (配布先) 各区役所、市民館、図書館などの公共施設、市内小中学校、ボランティア、関係団体等

〈研修事業〉

■日本語講座

外国人市民等の日本語学習を支援するため、段階別クラス編成による少人数の日本語講座を通年にわたり開講した。また、受講生に日本文化等への理解を深めてもらうため、特別講座を開催した。

(1) 日本語講座の開催

(開催講座)

○午前コース (10:00~12:00) 年間3期、週2回 (火、金)、託児を実施

1学期: 4/22~7/11 (22回)、2学期: 9/26~12/9 (22回)、3学期: 1/9~3/6 (17回)

○夜間コース (18:30~20:30) 年間3期、週1回 (水)

1学期: 4/23~7/9 (12回)、2学期: 9/3~12/10 (15回)、3学期: 1/14~3/18 (9回)

(講師) 協会登録の日本語ボランティア講師

(場所) 川崎市国際交流センター・会議室

(受講者数) 延べ 430名 (41の国・地域)

(2) 特別講座等の開催

受講生に日本文化等への理解を深めてもらうため、特別講座を開催した。

①市内見学 (5/27) 東扇島東公園とかわさきマリエン 外国人53名

②手芸講習会・第1回 (7/4) 外国人18名

③手芸講習会・第2回 (12/5) 外国人18名

④梨もぎ体験 (9/13) 外国人12名

⑤書道体験 (午前クラス対象) (11/4) 外国人55名

⑥書道体験 (夜間クラス対象) (3/18) 外国人25名

(3) 日本語講座ボランティア登録事前研修

日本語講座ボランティア講師の登録を目的として対象に事前研修を開催した。

(日時) 平成20年12月6日、13日、20日

平成21年1月17日、24日、31日、2月7日、21日、28日

各土曜日 午後2時~4時

(講師) 大学講師

(場所) 川崎市国際交流センター

(参加者) 6名

(4) 日本語講座ボランティア研修会の開催

協会登録の日本語講座ボランティアを対象に、ボランティア研修会を開催した。

(日時) 平成21年2月7日 (土) 午後1時~3時

(講師) 大学教授、講師

(場所) 川崎市国際交流センター

(内容) 中級の教え方

(参加者) 協会登録日本語講座ボランティア 20名

■国際理解講座

市民の国際理解を深めるため、日本語、外国語のほかダンスを通じての国際理解講座を開催した。

1 国際理解講座

「行事を通じて世界を知ろう!」とのテーマにより、協会登録の日本人ボランティア、また外国人市民等を講師に招き、国際理解講座を開催した。前半は、講師の母国についての概要と各月の祭りや行事について映像や音楽を用いて講演を行った。後半は質疑応答と交流を行った。

(期間) 平成20年12月11日(木)

平成21年1月22日(木)、2月19日(木)、3月19日(木)

(時間) 午後7時～8時30分

(会場) 国際交流センター2階 団体活動ルーム

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	12/11(木)	「マイノリティたちのアメリカ」 アメリカの少数民族(先住民、ユダヤ教徒、アフリカン・アメリカン)に とっての Thanksgiving Day や 12 月のお 祭りについての講義。	大野 あずさ 立教大学非常勤講師 協会登録ボランティア	25
2	1/22(木)	「韓国の旧正月と冬の過ごし方」 ～古(いにしえ)からの作法・慣習～ 1月末の旧正月の作法や食事、また宮廷 時代の行事についての講義。	全 美熙 ハングル講師 協会登録ボランティア	34
3	2/19(木)	「本場ブラジルのサンバカーニバル」 毎年2月下旬に行われるサンバカーニ バルの全容(起源、歴史、準備、練習、 ルールなど)についての講義。	服部 章子&ケペル木村 ブラジル在住(一時帰国) 協会登録ボランティア	36
4	3/19(木)	「スペイン・カタルーニャの祭り」 スペイン・カタルーニャ地方を起源と する春の祭り。「サン・ジョルディ」と、 「カステリエス(人間の塔)について の講義。	ベルナット・アグリョー 東京工業大大学院在籍 協会登録ボランティア	45

2 外国語による国際理解講座

(1) 英語による国際理解講座

当協会登録ボランティアの外国人市民等を講師に招き、中級レベル以上の英語学習者を対象に、国際理解講座を開催した。前半は、それぞれの母国の文化や社会問題、日本での異文化体験に関し、講師が選んだテーマについて講義、後半は質疑応答と交流を行った。

- (期間) 平成20年12月6日(金)、平成21年1月25日(日)
平成21年2月21日(土)、3月15日(日)
- (時間) 午後2時～4時
- (会場) 国際交流センター2階 団体活動ルーム

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	12/6(土)	“The Great Silk Road – the sunny side of the Uzbek streets”	Nailya Takahashi ウズベキスタン出身 当協会登録ボランティア	45
2	1/25(日)	The modern musical theater”	Diana Ishiyama アメリカ出身 洗足学園音楽大学講師	48
3	2/21(土)	“My road to Japan”	Joseph Motter アメリカ出身 英語学校講師	56
4	3/15(日)	“The America you may not know much”	Thomas McNabb アメリカ出身 語学講師	48

(2) 中国語による中国理解講座

川崎市内に在住、または大学院に在籍している中国人留学生等を講師に招き、中級レベル以上の中国語学習者を対象に、国際理解講座を開催した。前半は、中国の文化や社会問題に関し、講師の選んだテーマについて講義、後半は質疑応答と交流を行った。

- (期間) 平成20年11月30日(日)、12月7日(日)、14日(日)
- (時間) 午後2時～4時
- (会場) 国際交流センター2階 団体活動ルーム

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	11/30(日)	「一人っ子政策」の現状と家族の変化	張 治藍 専修大学博士課程在籍	28
2	12/7 (日)	「MADE IN JAPAN」を考える	舒 方鴻 法政大学国際日本学 研究所客員研究員	25
3	12/14(日)	中国・労働市場の変革	陳 必雲 慶応義塾大学修士課程 在籍	25

3 国際文化理解講座（講座名「ダンスで国際文化理解」）

市民の国際理解を深めるため、それぞれの国の歴史あるいは風土について学ぶとともに、ダンスを通じてその国の文化を体験した。

（期間） 平成21年1月16日（金）から3月11日（水） 5回シリーズ（保育を実施）

（会場） 川崎市国際交流センター・ホール

（参加者） 延べ284人 保育：延べ50人

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	1/6（金） 13:00～15:00	タンゴ（アルゼンチン） ・タンゴの歴史、現在のタンゴ事情と音楽についての講義 ・ステップの講習後、曲に合わせてダンスと交流	RIE OGURA & DIEGO MALVICINO 氏	60
2	1/28（水） 10:00～12:00	オディッシィ（インド古典舞踊・インド） ・かつて神に捧げたとされる踊りの歴史を紹介、振りの意味を理解しながら踊りを体験	桐山日登美氏 （インド舞踊ス タジオ チャラ ンカマル主宰）	49
3	2/11（祝・金） 13:00～15:00	サンバ（ブラジル） ・サンバカーニバルに対するブラジル人の思い・様子などを映像を交えて紹介。ダンス体験ではステップを習い、最後に即席のサンバパレードチームを作った。	ユミ氏 （サンバチーム 「ブロコ・アス タオン」ハイ ニャ&ブラジリ アundas・ショ ーユニット「カ シャーサ」主宰）	61

4	2/20 (金) 14:00~16:00	フラ (アメリカ・ハワイ) ・フラについてコンペティションの様子なども交えて紹介。歌の意味を理解しながら二曲を体験した。	カヒアウ 重田氏 (フラ ハーラウ オ カレオラニ オ カウア キリフネ ジャパン 主宰)	64
5	3/11 (水) 10:00~12:00	エチオピアダンス (エチオピア) ・多民族国家エチオピアの歴史や地域について理解するとともに、エチオピアのダンスを2種類体験、交流した。	アムサル氏 (エチオピア・モカダンサーズメンバー)	50

〈国際交流促進事業〉

■日本語スピーチコンテスト

川崎市内の大学や専門学校の留学生ならびに市内の日本語講座の受講生を対象に、日本語スピーチコンテストを開催し、日本人と外国人との相互理解を深めた。また、交流会を開催し、出演者と一般聴衆、関係者との交流を深めた。

- (期日) 平成21年2月14日(土) 午前10時～午後2時
(会場) 川崎市国際交流センター・ホール他
(内容) スピーチコンテスト、交流会
(主催等) 主催：川崎市国際交流協会 後援：川崎市教育委員会
協賛：川崎ライオンズクラブ、創作集団にほんご、山下秀男 評議員
(対象) 日本語を母語としない来日5年以内の外国人の方で、市内の大学、専門学校の留学生、市民館等の日本語講座の受講生
(出場者) 11名
(アメリカ、中国、韓国、カナダ、フランス、ネパール)
(聴衆参加者) 200名

■国際文化交流会

市民の国際理解を深めるため、音楽等を通じた国際文化交流会を開催した。

1 第14回クロコディロスコンサート

ハーバード大学男子学生によるアカペラコンサートを開催し、アメリカの音楽文化を通じて市民の国際理解を深めた。

- (期日) 平成20年6月21日(土) 午後2時
(会場) 川崎市国際交流センター・ホール
(内容) 男声アカペラコンサート
(入場料) 前売り券2,000円 当日券2,500円 中・高校生券1,000円
(参加者) 133名

2 ときめき・世界の音楽シリーズ「魅惑の音楽紀行」

以下のコンサートを開催し、世界の代表的な音楽と踊りを通じて、市民の国際理解を深めた。

(1) アメリカ「ハワイアン」

- (期日) 平成20年10月25日(土) 午後2時
(会場) 川崎市国際交流センター・ホール
(後援) 「音楽のまちかわさき」推進協議会
(内容) ウクレレ、スティールギター等の演奏とコーラス、フラのダンスパフォーマンス
(出演者) 佐藤真砂美 with ナレオ カラオニ
(入場料) 1,500円
(参加者) 136名

(2) 中国「二胡・古筝」

- (期日) 平成20年11月15日(土) 午後2時
(会場) 川崎市国際交流センター・ホール
(後援) 「音楽のまちかわさき」推進協議会
(内容) 二胡と古筝の演奏と歌
(出演者) 二胡:張 艶 古筝:謝 雪梅
(入場料) 1,500円
(参加者) 97名

(3) ロシア「ロシア民謡」

- (期日) 平成20年12月13日(土) 午後2時
(会場) 川崎市国際交流センター・ホール
(後援) 「音楽のまちかわさき」推進協議会
(内容) 男女混声大合唱団「白樺」によるロシア民謡と踊りのコラボレーション。
ロシア独自の楽器(バラライカ)と木製楽器のアンサンブル。
(出演者) 合唱団・白樺
東京バラライカアンサンブル
(入場料) 1,500円
(参加者) 137名

■その他(センター施設環境促進事業)

1 川崎市国際交流センター活用企画検討委員会の開催

川崎市国際交流センターの活用促進を図るため、「川崎市国際交流センター活用企画検討委員会」を開催し、協議を行った。

(1) 第1回検討委員会

(期日) 平成20年7月31日(火)

(内容) ○情報ロビー検索システムの撤去に伴う施設の有効活用について
○今後の検討課題について

(2) 第2回検討委員会

(期日) 平成21年2月10日(火)

(内容) ○情報ロビー及びギャラリーの改修工事について(報告)
○監視カメラの録画機能付加について(報告)
○国際交流センター利用者アンケート結果について(報告)
○今後の検討課題について

2 センター施設の改修等

川崎市国際交流センター活用企画検討委員会の協議結果を踏まえ、以下のとおり情報ロビー及びギャラリーの改修ならびに施設設備の改善を行った。

(1) 施設の改修 平成20年11月10日(月)から1週間

〈情報ロビー〉

情報機器の老朽化ならびに内蔵ソフトの更新が困難なため、機器を撤去し、協会をはじめ国際交流関係機関・団体等の活動紹介、また国際理解推進ための展示スペースとすべく、施設の改修を行った。またこれに併せ、情報ロビーの一部を昼食時に限り、簡単な食事がとれるスペースとした。

〈ギャラリー〉

大型映像機器の不具合に加え、造作間仕切りの壁により閉鎖的な空間となっているため、安全管理上からも改修する必要が生じた。また、姉妹友好都市をはじめ海外から川崎市を訪問された賓客からの記念品等を展示していくため、改修を行った。

(2) 施設設備の改善

防犯効果を高めるため、監視カメラの一部に録画装置を付加した。また、館内での急病等に対応するため、AEDを設置した。

(3) 改修に伴う施設利用の変更

情報ロビーの一部に簡単な飲食が可能なスペースを設けたことにより、4月から談話ロビーでの軽食を禁止することとした。

3 利用者アンケート調査の実施

国際交流センターの利用促進を図るため、利用者に対しアンケート調査を実施した。

(実施期間) 平成20年12月1日(月)～28日(日)

(アンケート調査数) 依頼数161件 回答数83件 (回答率) 51.5%

4 センター施設見学会の開催

国際交流センターの施設を広く市民に紹介し利用促進を図るため、施設見学会を開催した。

(内容) 施設管理担当者がホール及びレセプションルーム、特別会議室、特別応接室等を案内し、利用方法などについて説明を行った。

(期日及) 第1回 平成20年12月8日(月)

第2回 平成21年 3月9日(月)

5 市民共同おひさま発電所の設置

(1) 経過等

平成20年8月に国際交流センターに「市民共同おひさま発電所」が設置された。

これは地球温暖化対策問題に取り組む市民が中心となって立ち上げた「市民共同発電所プロジェクト」が市民、事業者から集めた寄付金とグリーン電力基金からの助成金及び a p b a n k からの融資によって、市民自らの手により設置し、川崎市に寄付したものである。

今後は川崎市の再生可能エネルギーの導入を進めるシンボルとして、また、センターを訪れる外国人を含む多くの方々に対して、地球温暖化対策に取り組む川崎市民のメッセージを発信していくことが期待されている。

(2) 設備の概要

太陽光発電(合計出力) 6. 25 kW

国際交流センター陸屋根設置分 4. 32 kW

プロムナード上部設置部分 1. 93 kW

〈施設運営及び維持管理業務〉

■ 国際交流センターの管理運営

(1) 統括業務

○施設の運営及び維持管理業務を円滑に行うため、業務間の調整を行い、職員への教育・指導を行った。

(2) 施設利用受付及び案内業務

○来館者に対するサービスに努め、会議室等の鍵の貸出し、利用料の徴収、貸出し備品の管理などの業務を誠実に行った。

○国際交流センターの特性として、来館される外国人市民等の皆さんに対応するため、語学に堪能な職員を配置するとともに、ふれあいネットや各種機器等への説明、接遇について研修を実施し、利用者に快適なサービスを提供するよう努めた。

(3) 施設利用促進業務

○ホームページならびに地域住民への回覧、チラシ等による情報提供を行い、効率的・効果的な利用促進を図った。

○国際交流センターホテルとの連携を図るため、宿泊に係わる利用案内や各種関連事業開催の利便性などについて説明し、施設利用促進を図った。

○施設見学会を開催し、市民への利用促進を図った。

(4) 図書・資料室管理業務

○一般図書の閲覧管理業務のほか、情報文化活動の拠点として国際交流に関わる様々な情報の収集及び分類を行った。

○小学生から高齢者まで幅広い利用者に対し、サービスの提供を行った。

(5) 施設・設備の維持管理及び補修業務

○国際交流センターの施設・設備を総合的に管理し、利用者に対し安全で快適な環境を提供するため、施設の維持管理及び補修業務を行った。

○中央監視システムならびに施設の巡回点検を通じて、諸設備の安全な運転監視と操作を行うとともに、適切な保守管理を実施して予防保全に努めた。

○施設の経年劣化に対応するため、施設・設備の年次補修計画を策定し、効果的かつ経済的な補修を実施した。

○施設・設備の劣化状況や異常を早期に把握し、適切な予防措置と迅速な処理を実施して、効果的な管理運営と施設の耐久化を図った。

(6) 舞台及びAV機器等維持管理業務

○市民文化の育成と国際文化交流の場とすべく、利用者に対し機器の使用説明と操作指導を行うとともに、ホール、レセプションルーム、特別会議室等の舞台装置ならびに機器類の維持管理

を行った。

(7) 施設警備業務

- 宿泊施設を併設する国際交流センターの事情を考慮し、夜間時の機械警備と連携して一般警備を行い、防犯、防火、防災に努めるとともに、機密の保持に留意した。
- 監視カメラの一部に録画装置を取り付け、監視を強化した。

(8) 駐車場管理業務

- 駐車場内での車両の適切な配置整理を行うとともに、歩行者及び自転車利用者等の安全を図り、事故防止に努めた。また、外路への渋滞回避など快適な利用が出来るよう配慮した。

(9) 設備保守点検業務

- 施設機能の低下を防止し、予防保全及び機械・装置の耐久年数を伸ばすとともに、全体の機能が円滑に運用維持されるよう、各設備の定期点検及び法定点検を実施した。

(10) 施設環境衛生管理業務

- 建築物における衛生的環境の確保に関する法律（ビル管法）に基づく環境衛生管理基準に従い、室内環境の維持、飲料水の水質管理及び館内消毒を行い、快適な利用空間を提供した。
- 空気環境測定業務 年6回（偶数月）
- 飲料水水質検査 年2回（3月・9月） 全項目（53種類）
- 害虫駆除消毒 年2回（3月・9月）

(11) 施設清掃業務

- 施設内外を常に清潔で衛生的な状態に保ち、その保全と美観の維持に努めた。
- 施設ごとに材質及び用途に最も適した方法で清掃を実施した。また、利用者の利便性を考慮して、各施設が利用されていない時間帯に適宜に実施した。
- フリースペースであるイベント広場の出入口付近は土砂等で汚損されることが多いため、常に巡回清掃に努めた。

(12) 植栽維持管理業務

- 施設周囲の街路樹等を定期的に剪定し、緑溢れる空間の創造に努めた。
- イベント広場などの庭園の雑草を定期的に駆除し、利用者の憩いの場としての環境維持に努めた。
- 茶室及び周辺的环境整備に努めるとともに、茶室庭園の維持管理を行った。

■ 利用実績

(1) 平成20年度 川崎市国際交流センター来館者数（月別）

4月	12,046人
5月	13,392人
6月	13,205人
7月	27,237人
8月	14,072人
9月	15,618人
10月	15,627人
11月	21,443人
12月	14,176人
1月	13,502人
2月	14,625人
3月	15,494人
合計	190,437人

※月別の来館者数は、施設利用者、一般来館者、図書・資料室利用者、インターネット利用者、各種講座・イベント等参加者の合計です。

(2) 川崎市国際交流センター施設利用状況（年間開館日数：346日）

施設名	利用コマ数	稼働率%	施設名	利用コマ数	稼働率%
ホール(264)	699	67.6	特別会議室(28)	80	7.9
レセプションルーム	526	50.7	特別応接室(8)	107	10.5
会議室(第1)(36)	503	48.9	料理室(24)	200	19.4
会議室(第2)(24)	674	65.4	交流サロン(30)	806	77.9
会議室(第3)(24)	592	58.0	茶室	352	34.1
会議室(第4)(30)	556	54.5	レクリエーションルーム	968	93.8
会議室(第5)(30)	531	52.1			
会議室(第6)(18)	812	78.2			
会議室(第7和室)(10)	653	63.0			

(注) 1. ()は定員

2. 利用コマ数は、利用区分（午前、午後、夜間）合計の実利用数

3. 稼働率は、小数点以下2桁を四捨五入

※申し込みは、川崎市公共施設利用予約システム（ふれあいネット）による申し込み及び抽選。

但し、ホール、レセプションルーム、特別会議室、特別応接室は直接センターの窓口で受付。